

kg を使って重さを表そう

東大阪市立布施小学校

教科 算数 単元名 重さ

本時のねらい

・kg を使って重さを表すことができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・見通しをもって学習に取り組めるように、Google Classroomを使って学習の流れを提示する。
- ・授業で分かったことや考えたこと、問題の進捗状況を Google スプレッドシートに打ち込むことで、お互いの振り返りを参照することができる。

本時で育む主な情報活用能力

E-STEP2, J-STEP2 K-STEP2, M-STEP1

該当番号の詳細内容は 「大阪府情報活用能力 ステップシート」から確認できます。



活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Google Classroom ・Google スプレッドシート ・大型提示装置・・デジタル教科書

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	・前時の復習をする。 ・本時の流れを、Classroom のストリームをみて確認する。 【写真1】	・ストリームで授業の流れを提示することで見通しをもつことができ る。
	・ランドセルの重さをはかりで測り、1000g をこえるときの表し 方を知る。 (グループ学習)	
	めあて kg を使って重さを表そう。	
展開 (35分)	・kg という単位を知り、教科書の QR コードを読み取って、 kg の書き方を学ぶ。 ・1300g を kg で表す。 ・はかりが何 kg まではかれるかを考える。 ・教科書の問題を、自分のペースで取り組む。 ・スプレッドシートに自分の学習の進捗状況を記録する。 【写真 2】	・デジタル教科書を使うことで kg の書き順を自分のペースで練習できる。 ・スプレッドシートの活用により、子どもたちが自分の学習状況の記録を確認し、単元を通して振り返ることができる。
まとめ (5分)	・今日の学習のめあてを達成できたか、問題がどこまで解け たかをスプレッドシートにて振り返る。 【写真 3 】	・今日の学習がどれくらいわかったのかなど、スプレッドシートで児童 の進捗状況を把握することで、個別に適切な支援ができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真 1 】Classroom を見ながら、本時の流れを確認している場面



【写真2】教科書の取組状況をスプレッドシートに打ち込んでいる場面



【写真3】今日のふりかえりをスプレッドシートに 打ち込んでいる場面

児童生徒の反応や変容

- ・授業の始めに見通しをもたせることで、次に何をするべきかを子ども自身のペースで、学習に取り組んでいた。
- ・後段の教科書の問題を解く課題では、友だちと学習したり、一人で取り組んだりするなど様々であり、自分に合った学習形態を選択していた。
- ・取り組み状況を共有しているため、問題を解くことに困っている児童に対して、児童同士で声をかけて教えている姿も見られた。

授業者の声~参考にしてほしいポイント~

- ・ストリームにて、本時の流れ・めあて・ルーブリックを示すことで、児童が目標と見通しをもって学習に取り組むことができた。
- ・学習形態や学習過程を自分で選択し、取り組む時間を与えることで、児童同士が活発に話し合ったり、教えたりする時間が増えた。
- ・スプレッドシートにて進捗状況を打ち込むことを積み重ねることによって、単元全体のふりかえりを教員だけでなく児童自身も見返すことができた。また、 教員が個別で児童 1 人 1 人に丁寧に支援できる時間を確保できた。